

■ BUNGAKUZA TSUSHIN 2026.8 Vol.804

文学座通信

- 10月アトリエの会『あしあと』……………1～4
座談会 | 若手が語る文学座への思い
成田次郎×山下瑛司×鶴田しげ里×沼田利生
公演情報……………5
- 杉村春子生誕 120年インタビュー……………6～7
杉村先生から学んだこと—坂東玉三郎
- アトリエ短信……………8

■ 文学座10月アトリエの会 後援=新宿区

あしあと

作=八鍬健之介

演出=松本祐子

身体、仕事、居場所、未来——。気づかないうちに、人は多くのものを手放して生きている。昨日まで当たり前だったものが、ある日ふと手の中からこぼれ落ちる。

東京、下町の片隅にある木根義肢製作所。ある日、大学生の所芳実が突然製作所を訪ねてくる。説明もろくに聞かず「いますぐ脚をつくってください」と迫る芳実。聞けば、その脚とは友人のためのものであり、自分が運転するバイクの後ろにその友人を乗せたまま事故を起こしてしまったという。

それぞれが、失ったものの先で立ち方を探している。それでもまた歩こうとしている。誰もが何かを失っていく時代に踏み出す、小さな一歩。

2026年 10月16日(金)～28日(水) 信濃町 文学座アトリエ

助成：
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



宣伝美術 | チャーハン・ラモーン

座談会 若手が語る 文学座への思い

● コロナ禍の中で入所した世代

沼田 アトリエの会『あしあと』の初日まで三か月以上ありますが、今回の作品は若手のお三方が作品の中心役割を担うことになりました。……というところで、今年座員になられた同期の成田さんと山下さん、準座員二年目の鶴田さんに、今作や文学座についての思いを伺います。まず研究所の本科に入られたのはいつでしょうか。

成田 僕ら六十一期は二〇二一年ですね。コロナ禍の二年目。

鶴田 私が二〇二二年に本科に入りました。六十二期です。

沼田 二〇二三年に、研修科でお三方が重なったと思いますが、そこで共演もされていますよね。

成田 ええ。最初が『ヴィヨンの妻』で、次に『雨の夏、三十人のジュリエット』が還ってきた『をやって、最後が『ペンテコスト』でしたね。

山下 研究所の時はマスクをしてましたっけ？

鶴田 まだつけてましたね。稽古中はずっとマスクをしてて、ゲネプロと本番だけ外してたと思います。

成田 本科の時は、稽古中ずっとマスクしてたので、ゲネプロで初めて皆の顔を見たんですよ。

鶴田 そうでしたな。けっこう恥ず

企画事業部
沼田利生 ▼

演技部
山下瑛司 ▼

演技部
成田次郎 ▼

演技部
準座員
鶴田しげ里 ▼



かしかったのを覚えてます。

成田 お互いに「え？ こんな顔してたの？」とか(笑)。

山下 芝居に影響が出るんですよ。

鶴田 そのせいか、台詞を飛ばす人も多くて。

成田 そうそう！ 覚えてる。

沼田 コロナの時期に研究所にいた経験が、今に活かしているような感覚はありますか。稽古の仕方や授業も通常とは違ったと思うんですが。

成田 感覚的にはあまり変わりませんでしたね。でも、人の表情の変化に対して多少敏感になったかな。

山下 一期上の世代はコロナのせいでカリキュラムも止まってたんですが、その一年間を経て、僕たちの時は通常

アトリエ短信

■訃報 文学座東京支持会会長の今藤政太郎(本名・中川昇二)さんが、6月30日に逝去されました。享年90。

1935年 東京日本橋生まれ。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業後、1963年に二世今藤政太郎を襲名。作曲の他、江戸時代の長唄の復曲に尽力されました。2013年に長唄三味線の人間国宝に認定。2016年から文学座東京支持会会長として劇団を支えていただきました。謹んでお悔やみ申し上げます。

文学座からの暑中お見舞い

今年の暑中見舞いのデザインは、御守未来(演出部準座員)が担当しました。

附属演劇研究所研修科発表会

『三人姉妹』 作・チェーホフ
訳・安達紀子 演出・松本祐子

◇9月4日(金) 18時半(A) / 18時半(B)

5日(土) 13時(A) / 18時半(B)
6日(日) 13時(B)

※開場は開演30分前。受付開始は開演45分前。
※AとBでキャストが異なります。

信濃町・文学座アトリエ

◇入場料 2,000円(要予約・全席指定・当日精算・消費税込)

◇予約受付 8月19日(水) 19時

※ご予約はWEBのみとなります。



音楽劇『RATS 猫も食わないから騒ぎ』

長岡リリックホール開館30周年、文学座との地域拠点事業も間もなく20年目を迎えます。これまでのホールと文学座、そして市民の皆さんと積み重ねてきた関係性の集大成として、歌あり、踊りあり、笑いありの新作音楽劇『RATS』を上演します。

脚本・小川未玲 / 演出・西川信廣 / 音楽・上田亨
美術・乗峯雅寛 / 照明・塚本悟 / 音響・藤平美保子 / 振付・神崎由布子 / 歌唱指導・満田恵子 / 舞台監督・道場禎一 / 衣裳協力・東京衣裳 / 制作・(公財)長岡市芸術文化振興財団 / 制作協力・文学座 / 宣伝デザイン・大野香織

◇出演 清水明彦、高橋ひろし、頼経明子、越塚学、成田次郎(以上、文学座)

市川千紘(文化座)他、長岡市民の皆様

◇8月22日(土) 15時開演・23日(日) 13時開演

◇長岡リリックホールシアター ※開場は開演30分前。

◇料金 一般 3,000円 / U・25 1,000円

(要予約・全席自由・消費税込) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

ご予約受付中

長岡リリックホール 0258・29・7715

長岡市立劇場 0258・33・2211

主催 お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団事業課 0258・29・7715

府中市生涯学習センター 朗読講座のご案内

府中市生涯学習センターにて、朗読講座「文学座が贈る講演と朗読会」名作との出会いを、文学と演劇に関する講演と俳優による朗読の二本立て。お申し込み受付中です。ぜひご参加ください。

◇11月5日(木) 14時～16時

◇府中市生涯学習センター 講堂

◇朗読 日景温子(演技部)

◇夏目漱石『夢十夜』より「第一夜」

◇江戸川乱歩『指』

◇宮沢賢治『注文の多い料理店』

講演 後藤隆基(文芸編集室)

◇料金 1,000円

(要予約・全席自由・消費税込)

◇定員 290名

◇お申し込み・お問い合わせ 府中市生涯学習センター 042・336・5700



※WEBからのお申し込みは8月中のみ



出演情報 ◎追加情報は文学座HPにて

★宝意紗友莉：『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーン オリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子 訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) 7/2～12月末 TBS 赤坂ACTシアター
★小野洋子：『聖なる炎』(サマセット・モーム作、小田島創志 訳、小笠原響 演出) 7/2～8/12 全国演鑑連(関越・中部・北陸・静岡)
★神野崇：『TOKYO SLUM』(中津留章仁 作・演出) 7/30～8/9 上野ストアハウス
★松岡依都美、鈴木結里：『月を抱く人魚 一雨物語より』(上田秋成 原作、鈴木アツト 脚本、生田みゆき 演出) 8/7～23 シアタートラム(三軒茶屋)
★山本郁子：朗読劇『孤高の人～川上貞』

奴の生涯』 8/11 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール(岐阜)

★浅野雅博：『アメリカン・ドリーム』(三谷幸喜 作・演出) 8/15～9/13 PARCO 劇場(渋谷)ほか

★平体まひろ：『夢去りて、オルフェ』(清水邦夫 作、大河内直子 演出) 8/21～30 東京芸術劇場シアターウエスト(池袋)

★小石川桃子、河野颯斗：PLAYN『十五番街のマリー』(山崎元晴 作、西本由香 演出) 8/26～9/1 雑遊(新宿三丁目)

★鬼頭典子：『ひまわり認定こども園の悩める人々』(山谷典子 作、小笠原響 演出) 9/2～6 シアターグリーン(池袋)

★富沢亜古：『出ニッポン酔夢譚』(瀬戸口郁 作、高橋正徳 演出) 9/3～6 東京芸術劇場シアターウエスト

★石橋徹郎：『家族…リハーサル』(ジ

ル・ディレック 作、山上優 訳、鶴山仁 演出) 9/3～13 中野ザ・ポケット

★椎原克知、山田里奈、牧紅葉：『SWAN-Ballet cross Reading-』(有吉京子 原作「SWAN-白鳥」平凡社刊)、小林香 脚本・演出) 9/4～9 新国立劇場 中劇場(初台)

★駒井健介、奥田一平、大石英玄：『リア王』(W.シェイクスピア 作、石井美樹子 訳、井上尊晶 演出) 9/6～22 新橋演舞場

★森寧々：MORINE' 再演 ひとり芝居『VOLE!』(Eva RAMI 作、岩切正一郎 訳、水野玲子 演出) 9/23 調布市せんがわ劇場

★渡邊真砂珠：『THE TOMORROW BOX～びっくり箱～』(アン・チスレット 作、吉原豊司 訳、大谷朗 演出) 10/22～25 赤坂レッドシアター